

シナノナデシコ

Dianthus shinanensis (Yatabe) Makino

ナデシコ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧Ⅱ類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育している個体数はきわめて少なく、産地も限られている。全国の分布域からも貴重である。(現況:RO)

形態

茎は直立して、ややたく、紫色を帯びる。葉は対生して、基部は細くなって短い柄となる。葉身は線状披針形で、へりには毛がある。花弁のへりに歯牙がある。

国内分布

愛知、岐阜、福井の3県を除く中部地方に分布する。

県内分布

南加賀区のブナクラス域に分布する。

生態など

高さ30cmほどになる多年生草本である。開花期は6月～9月。花弁は紅紫色である。蒴果は萼に包まれる。開花株はその年に枯れることが多い。

生育環境

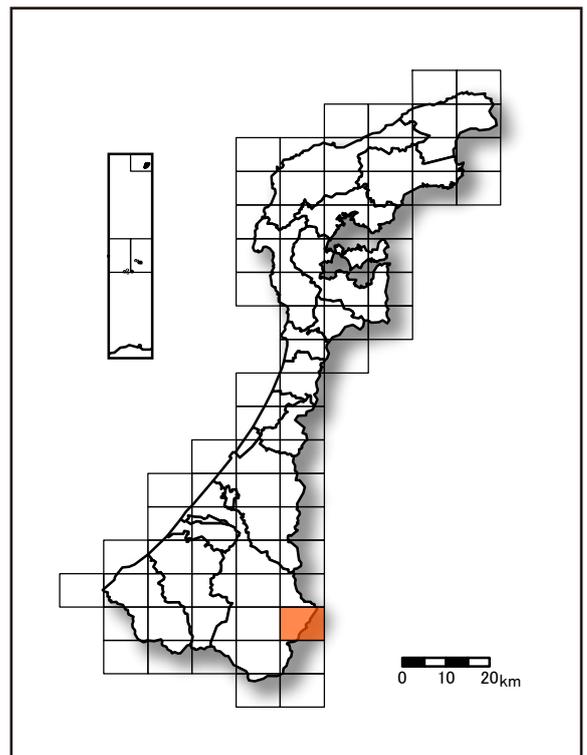
日当たりのよい崩壊地、河原、岩場、草地に生育する。

危険要因

河川開発、自然遷移。



本多郁夫・2004年8月6日・白山スーパー林道



県内の分布